

令和4年度中期昇段審査会の結果概要について

1 段位別受審者及び合格者数

	初段	弐段	参段	計
受審者	11	6	4	21
合格者	7	6	4	17

2 講評要旨（三浦 仁審査員）

- コロナ禍で様々な制限があったと思うが、日頃の練習の成果を見せてもらった。
- 皆さんの後ろに各支部(道場)の先生の姿が見えたが、これからは、自分の空手道を極めるために技を磨いてほしい。
- 全体的には、基本が形に、形が組手に繋がっていなかったなので、物足りなく感じた。
- 基本の練習の中で、突き蹴りの強さや伸びを磨いていけば、形や組手に繋がるので、これまで以上に練習を積んでほしい。

3 段位別受審者の形の選択状況

(1) 初段

抜塞大	観空大	燕飛	慈恩	計
7	1	—	3	11
64%	9%	—	27%	100%

(2) 弐段

選定形

抜塞大	燕飛	計
3	3	6
50%	50%	100%

得意形

慈恩	壮鎮	五十四歩小	計
2	1	3	6
33%	17%	50%	100%

(3) 参段

選定形

抜塞大	燕飛	計
1	3	4
25%	75%	100%

得意形

慈恩	雲手	五十四歩小	計
2	1	1	4
50%	25%	25%	100%